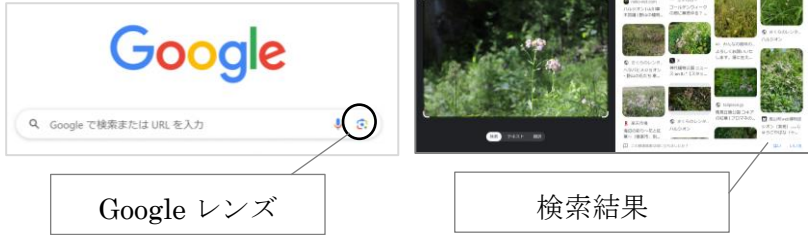


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

主体的に調べ学習をするための ICT 活用
「植物の観察記録・画像検索」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校 高等部 1 年
	障がい名等	知的障がい、肢体不自由
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	・身近な植物を見たり名前を聞いたりしたことはあるが、実物と名前が一致していないことがある。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	理科
	単元(題材)名	単元名「種から育てよう」
	単元(題材)の概要	・身近にある植物について、名称や分類名などを調べることで、植物に関心をもつ。 ・実際に植物を栽培しながら、発芽や成長に必要な条件や、成長の過程、葉や根、茎、花などの役割について、実験を通して理解を深める。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	タブレット端末  Google レンズ 検索結果
	ねらい・工夫点	〈ねらい〉 ○身近な植物について、実物と名称を一致できるようにする。 ○栽培している植物について、子葉や本葉の形から、種を同定できるようにする。 〈工夫点〉 ・教師が情報を提示する場面を減らし、検索結果から生徒自身が答えを探す場面を増やすことで、生徒の主体的な姿を引き出し、知識の定着に繋がった。 ・画像データとして記録を残しておくことで、次の時間に振り返りがしやすかった。 ・必要に応じて、本の図鑑を併用することで、調べる手段の幅が広がった。 ※ネットワーク環境がないとすぐに検索ができないため、状況によっては、撮影から検索までタイムラグが生じることがあった。
	材料・作成方法等	タブレット端末、アプリ (Google レンズ)
子どもの変容や評価		・「見たことはあるが名前が分からない花」の名前が分かったとき、「聞いたことがある。」と答えていた。 ・検索結果の中から植物名を見つけ、「〇〇 (植物名) だ！」と発言していた。